

【1 設立趣旨】

あいちサーキュラーエコノミー推進プラン(2022年3月策定)に基づき、繊維・衣類循環利用モデルの具体化に向け、使用済み繊維製品を効率良く回収し、付加価値のある製品として再生することを目的として設立。

- <メンバー> (株)エス・エヌ・テー、(株)サンユニフォーム、(株)ダイセキ、高末(株)、豊島(株)、hap(株)、(株)BPLab、矢作建設工業(株)、岡崎市、蒲郡市 (10者)
<アドバイザー> 京都工芸繊維大学 名誉教授 木村 照夫
<オブサーバー> 三井住友信託銀行(株)、経済産業省中部経済産業局、環境省中部地方環境事務所(※2024年3月18日現在)

【2 繊維・衣類を取り巻く状況】

- 海外: 「サーキュラーエコノミー・アクション・プラン」(2022年3月公表)では重点対策分野の1つとして繊維を指定。
「持続可能な循環型繊維製品戦略」(2022年3月公表)では、2030年までに繊維製品をリサイクル原料の使用、耐久性やリサイクル性に配慮したものとするの目標設定。
国内: 環境省によれば、衣類の循環利用は34%、66%が処分・埋立。
経済産業省「循環経済ビジョン2020」(2020年5月)では、循環システムの検討が急がれる分野として「繊維」を設定。
国内で繊維to繊維のリサイクルが可能な拠点は少ない。
経済産業省は、資源利用促進法の見直しに向けた議論を開始し、対象品目に「衣服」の追加を検討。

【3 チーム方針】

全国一のものづくり県である愛知県では、製造業や建設業等、事業場での作業着の使用が多い。また、大都市圏を有し、サービス業が盛んであるため、企業等での制服の使用も多い。
本PTでは、これら産業県である愛知で使用及び廃棄の多く見込まれるワーキングウェアを対象に、「繊維 to 繊維」の実現に向け、循環するプラットフォームの構築を目指す。
また、長期的には、市町村との連携により一般回収の衣類の資源化も検討する。



【3 プラットフォームの構築に向けた取組】

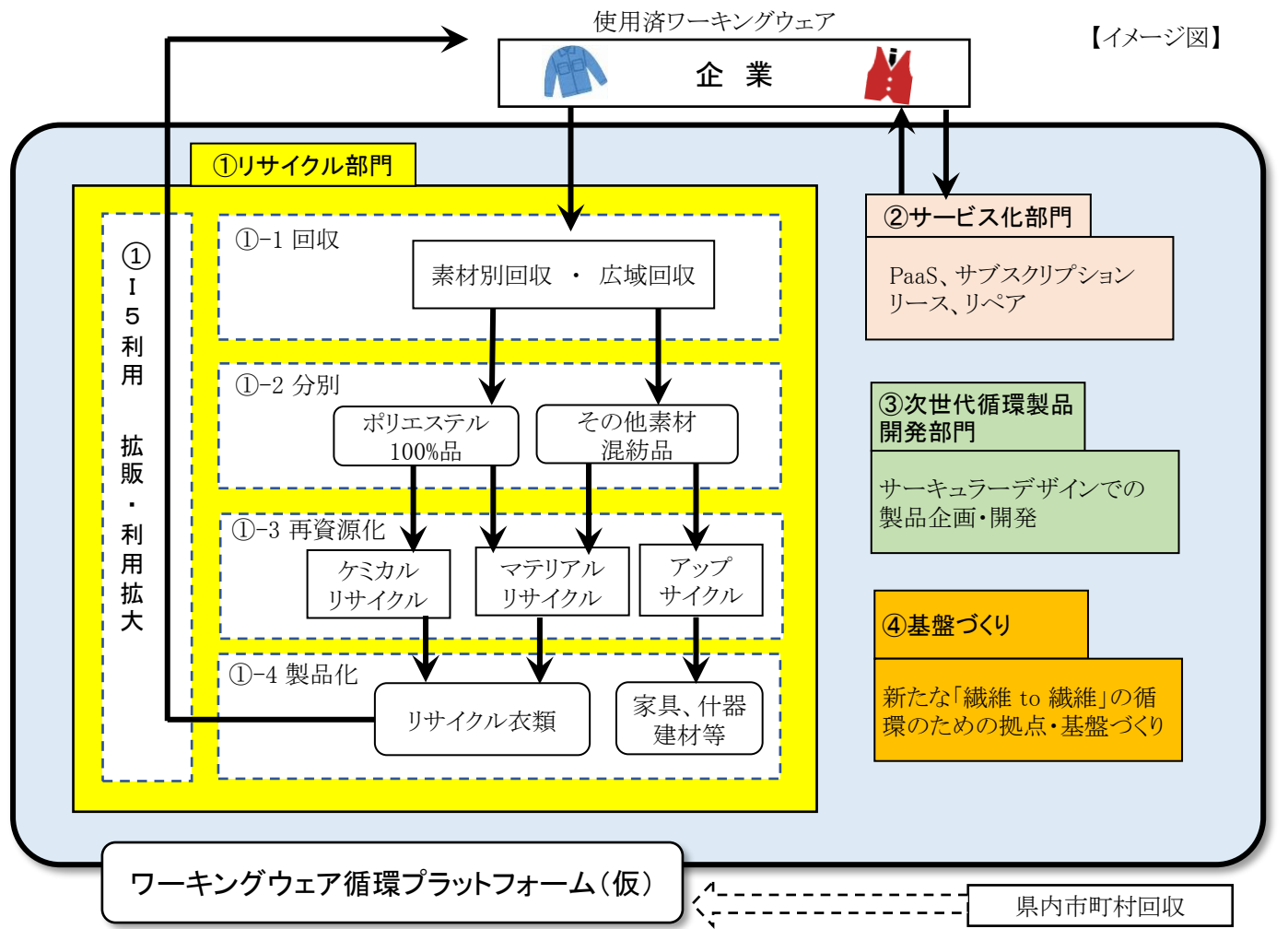
- 取組①: 高付加価値な再生繊維製品へのリサイクル
・素材ごとの分別や物流効率等を考慮した高効率な回収の仕組みづくり
・使用済み衣料や繊維端材拠出元の確保を含めた繊維資源を有価物として確保・活用できるスキームの構築
・マテリアルリサイクルによる使用済ポリエステル製品等の再生原料化
・ケミカルリサイクル技術による高品質な再生原料化
・アップサイクルによる混紡品の衣類以外の分野(家具や什器、建材等)での活用
・再生原料を活用した再生繊維製品の製造・販売拡大
・循環価値のブランド化につなげるための、一次製品の設計段階及び再生製品のLCA評価
・原材料から縫製、物流までのサプライチェーン情報やLCA等の商品への付与及びそのためのデジタルプラットフォームの開発・運用等
・一般回収の素材の活用も検討
・再生繊維製品の循環利用を通じた企業、市民等への啓発、行動変容の促進

- 取組②: 長く大切に使うためのサービス化
・所有からサブスクリプションやリースによるサービス化への転換
・リペアによる衣類の長期利用

- 取組③: サーキュラーデザインでの新たな次世代型循環製品の開発
・単一素材化や易解体性等のリサイクル性、長寿命化、使用中のメンテナンス、リユース、リペア、アップサイクル、デジタル管理等を見据えたサーキュラーデザインによる新たな循環型の繊維製品の企画・開発・運用設計
・産業ごとの特徴や使用環境を考慮した、分野に見合った最適な製品設計
・快適多機能性素材の利用拡大

- 取組④: 新たな「繊維 to 繊維」の循環のための基盤づくり
・県内での新たな「繊維 to 繊維」循環の実現に必要な拠点の検討(例: 分別施設、ケミカルリサイクル施設等)
・サーキュラーエコノミーの観点を踏まえた各社での経営戦略、事業戦略・計画の策定

- 取組⑤: 経営戦略・事業戦略の明確化
・サーキュラーエコノミーの観点を踏まえた各社での経営戦略、事業戦略の策定
・廃棄物処理事業からリソーシング事業への拡大を図る事業計画の策定
・策定した戦略や計画に関する社内周知、社外発信



【4 進め方】

作業着やユニフォーム等、企業系の使用済ワーキングウェアを中心に素材別回収、原料化、再生製品化のビジネスモデルの検討を進め、実証実験の実施を踏まえて循環スキームとなる「あいち繊維循環プラットフォーム(仮)」を5年を目処に構築し、一般回収の衣類の資源化にもつなげていく。

Timeline table showing milestones from 2022 to 2026: ビジョン策定 (2022), 実証試験計画作成 (2023), 調査 (2023-2024), 実証試験 (2024-2025), 事業展開 (2025-2026).